

公益財団法人 藤原ナチュラルヒストリー振興財団 様

平成 30 年 3 月 14 日
福岡県立門司学園高等学校
教諭 船津 由樹

平成 28 年度（第 25 回） 高等学校助成
B 生徒用顕微鏡の買換え補助 報告書

昨年度は、藤原ナチュラルヒストリー振興財団様より生徒用顕微鏡の買換え補助をいただき、誠にありがとうございました。平成 29 年度の顕微鏡利用について報告いたします。

1 助成品目

生物顕微鏡ウィングブルー（ナリカ） WB600-M 10 台

本校は併設型県立中高一貫教育校で、中学校の開校は平成 16 年、高等学校は平成 19 年である。中学校は新規開校であるが、高等学校は県立高校 2 校が統合して開校したため、本校で使用する備品のほとんどは、閉校した 2 校で使用していたものである。そのため生徒用顕微鏡は古く、メーカーや性能の異なるものが混在している。しかし予算の都合上、一度に数台ずつの顕微鏡しか購入できず、実験時には生徒への指導に苦勞している。

今年度は、貴財団の助成により同型式の顕微鏡が 18 台となり、顕微鏡実験の指導が行いやすくなった。また、全ての顕微鏡が LED 光源装置付きであるため、天候に関わらず実験観察ができるようになった。

2 使用状況

今年度は、2 年文系（35 名 2 クラス）、2 年理系・生物選択クラス（13 名、9 名の 2 クラス）、3 年理系・生物受験者（5 名）の授業で、以下のような実験観察を行った。

- (1) 顕微鏡の基本操作（2 年文系・理系）
- (2) 植物細胞の観察（2 年文系・理系）
- (3) ミクロメーターの使用（2 年文系・理系）
- (4) 植物の体細胞分裂の観察（2 年文系・理系）
- (5) ミクロメーターの復習（3 年理系）

状態の良い顕微鏡の台数が揃わないため、2 年文系では 2 名で 1 台を使用した。2 年・3 年理系は少人数であるため、1 人 1 台を使用することができた。



図 1) 3 年理系の実験「マイクロメーターの復習」の様子

3 成果と今後の予定

今年度 2 月、国庫補助金で本助成品と同型式の顕微鏡を 8 台購入することができた。まだメーカー・型式の異なる顕微鏡が混在するものの、使用可能な LED 光源装置付き顕微鏡が約 40 台となった。しかし、旧型式の顕微鏡は修理の頻度も高く、使用困難になるのも時間の問題である。今後も補助金等を利用しながら顕微鏡性能の統一に努め、生徒実験を多く取り入れ、理科に対する興味関心を育てていきたい。